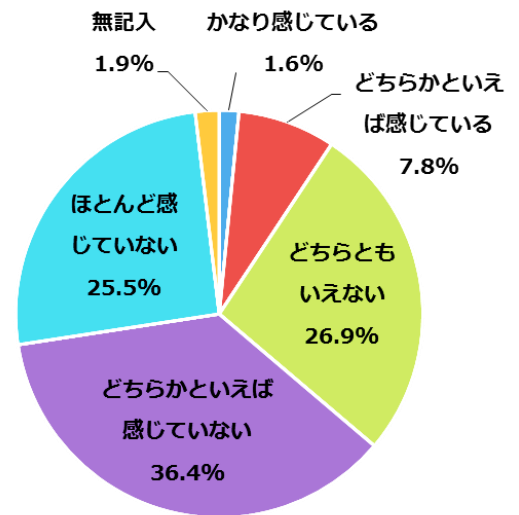


〈地域医療〉

あなたは、白老町に住んでいて安心して医療を受けることができますと感じていますか。(p22,問 37)

●「感じている」は9.4%（前回より5.8ポイント減）

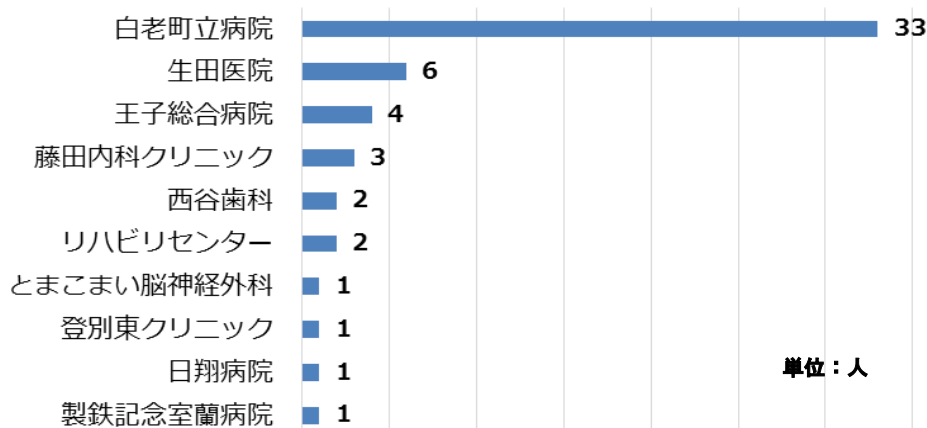
・白老町で安心して医療を受けることができると「感じている」割合は、前回より5.8ポイント減の9.4%、一方、「感じていない」は57.0%から4%増の61.9%となりました。



「かなり感じている」、「どちらかといえば感じている」と答えた方にお聞きします。具体的に利用されている病院名をお答えください。(p22,問 37-2)

●「町立病院」が最多

・前問で、安心して医療を受けることができると回答した人の多くが、町立病院を受診しています。一方で、およそ15%の方が町外の病院を利用していることがうかがえます。

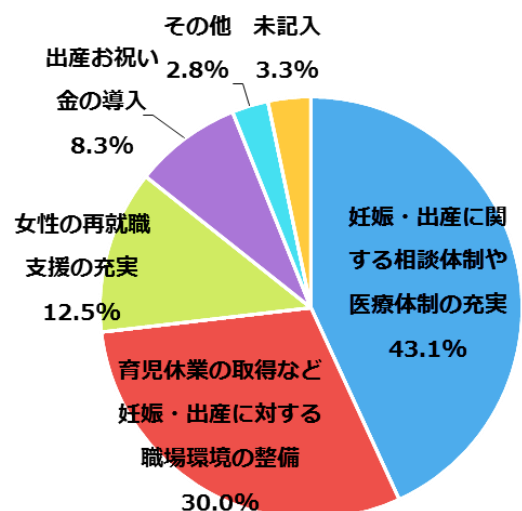


出産希望をかなえるために、どのような取り組みに重点を置くべきだと思いますか。(p10, 問 17)

●出産希望をかなえるためには「相談体制や医療体制の充実」と「職場環境の整備」が必要

・「妊娠・出産に関する相談体制や医療体制の充実」(43.1%)と「育児休業の取得など妊娠・出産に対する職場環境の整備」(30.0%)の2項目で全体の7割を占めており、出産の希望をかなえるためには、妊娠中から産後までのサポート体制の充実が求められています。

・また、「女性の再就職支援の充実」(12.5%)も3位で、2位の「職場環境の整備」と合わせると42.5%が就労環境等の整備・充実となり、出産等に関して、離職や再就職等の問題が大きいことがうかがえます。

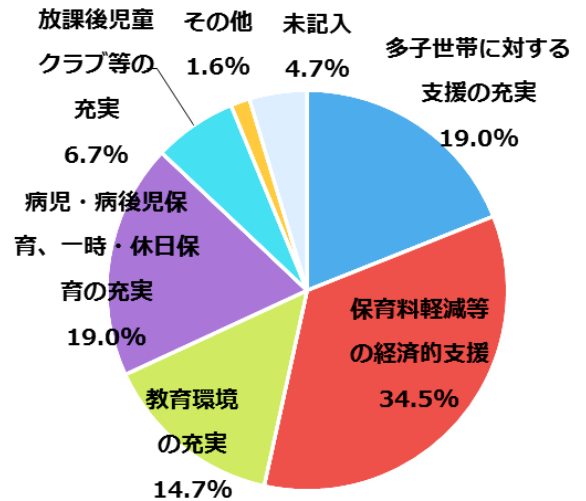


子育てしやすくするために、どのような取り組みに重点を置くべきだと思いますか。(p10, 問 19)

●最も多いのは、「経済的支援」34.5%

・子育てをしやすくする環境整備としては、「保育料軽減等の経済的支援」(34.5%)が多く、また、「多子世帯に対する支援の充実」(19.0%)と合わせ、子育てに関する経済的負担の大きさがうかがえます。

・その他、「教育環境の充実」(14.7%)、「病児・病後児保育、一時・休日保育の充実」(19.0%)が続き、学力向上や子育てに関するサポート体制の必要性の高さがうかがえます。

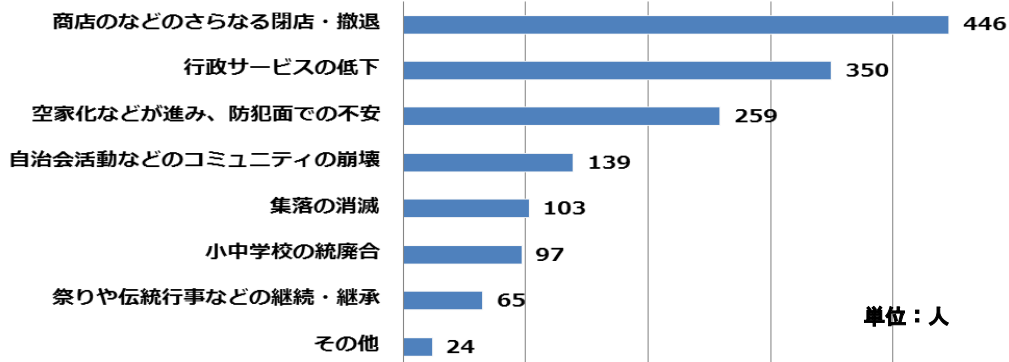


〈商工業〉

あなたは、人口減少がさらに進行していった場合、生活、暮らしにどんな不安を感じますか（3つまで複数回答可）。(p6, 問 5)

●「商店の閉店・撤退」、「行政サービスの低下」、「防犯面の不安」の順

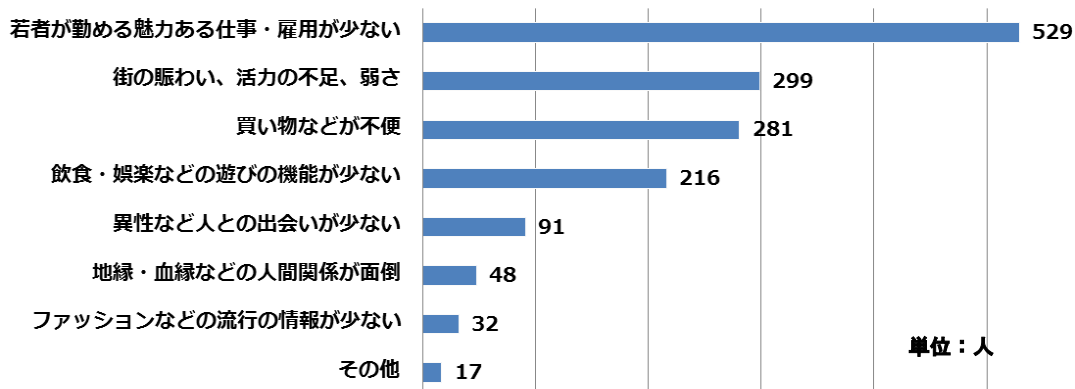
・人口減少に伴い、買い物や行政サービスといった利便性に対する懸念や空き家に対する防犯面での不安が上位を占め、「自治会活動などのコミュニティの崩壊」「集落の消滅」など、地域の問題が続きます。



進学によって白老から転出した若者が卒業後に町に戻ってこない理由は何だと思いますか（3つまで複数回答可）。(p6, 問 6)

●雇用面の原因が突出。街の賑わい不足、買い物不便や出会いの少なさも原因に

・魅力のある仕事、雇用が少ないと感じる声が目立ち、次いで、街の賑わい、活力不足や買い物などの日常生活の不便さを指摘する声も多く寄せられています。

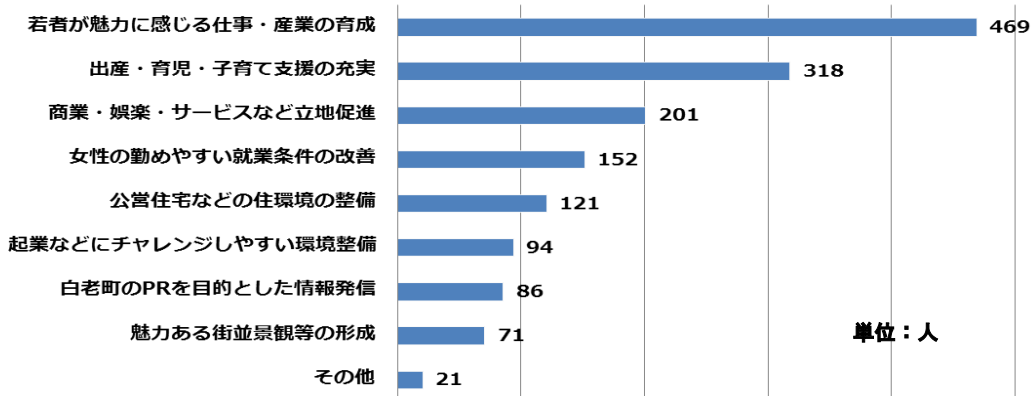


改善ニーズ上位5項目（基本施策）別 関連設問抜粋

子育て世代を白老町に呼び込む（流入）、または流出を抑えるためにはどのような分野に重点を置くべきだと思いますか（3つまで複数回答可）。(p7,問 7)

●最も望まれているのは「仕事・産業の育成」、次いで、「子育て支援の充実」の順

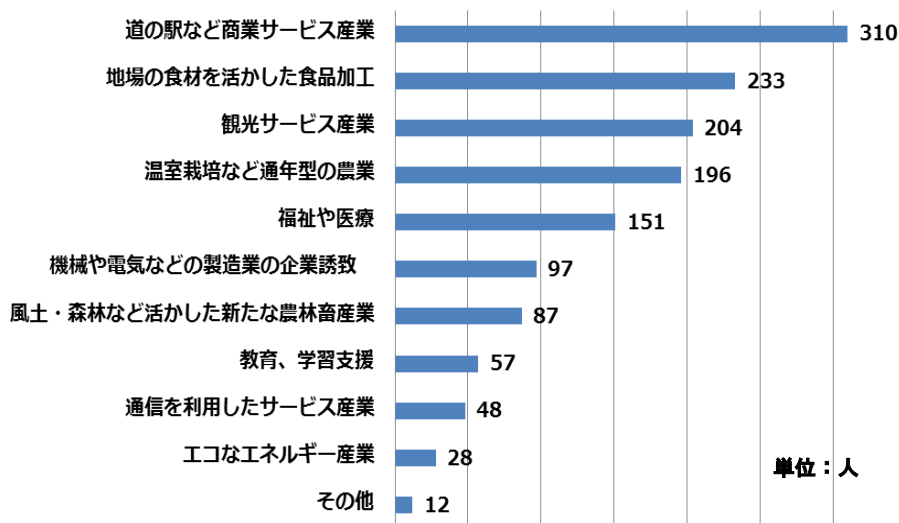
・子育て世代を呼び込む対策としては、「魅力ある仕事・産業の育成」が最も多く、次いで、「出産・育児・子育て支援の充実」、「商業・娯楽・サービスなど立地促進」の順となっており、雇用環境の充実の必要性がうかがえます。



今後、白老町でどのような産業を成長させることがよいと思いますか。重要と思われるもの3つまでに○をつけてください。(p34,問 54)

●「商業サービス産業」、「地元食材の食品加工」、「観光サービス産業」がトップ3

・地域の特性として、食材の特産品が多いことから、道の駅や食品加工業等のサービス産業への期待が高いことがうかがえます。

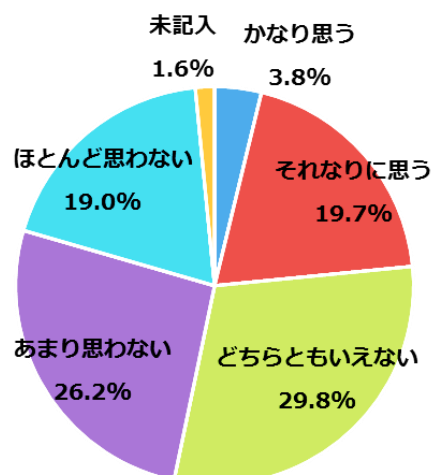


〈公共交通機関〉

白老町は買い物や通院などの日常生活に必要な公共交通機関が確保されていると思いますか。(p17,問 28)

●「確保されていない」と答えた割合が45.2%

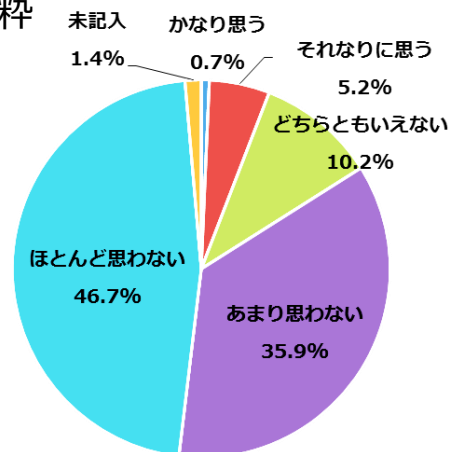
・「確保されていない」と回答した人が、「確保されている」と回答した人を大きく上回ることから、公共交通機関のニーズの高さがうかがえます。



改善ニーズ上位5項目（基本施策）別 関連設問抜粋

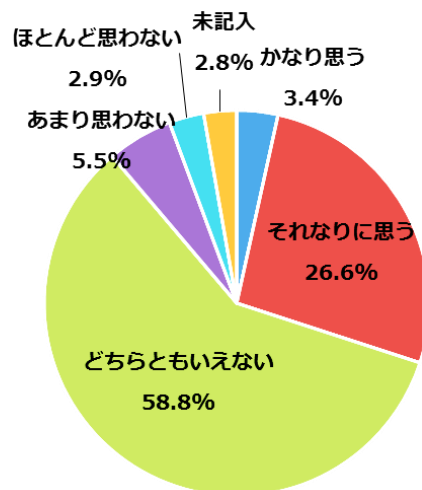
白老町は自家用車に頼らずに生活できる環境だと思いますか。(p17,問 29)

- 「自家用車に頼らずに生活できない」が8割以上
 - ・「自家用車に頼らずに生活できる」と回答した人が、わずか5.9%にとどまり、8割以上の人「自家用車に頼らずに生活できない」と回答したことから、自家用車に対する依存度の高さがうかがえます。



白老町は地域の支えあいなどにより、高齢者や障がい者が安心して暮らせる環境（生活支援のサービス等）にあると思いますか。(p24,問 41)

- 「安心して暮らせる」と思う割合は30.0%
 - ・「安心して暮らせる」と思う割合は30.0%とまだまだ低い状況にあることから、今後もより一層、地域との連携を密にしながら生活支援サービスの充実を図っていく必要があります。



「どちらかといえば安心して暮らせる環境にあるとは思わない」、「安心して暮らせる環境にあるとは思わない」と答えた方にお聞きします。その理由は何ですか。また、現在あるサービスのほかに望むものがあればお書きください。(p24,問 41-2)

●満足していない理由が多かったもの

- ①「地域医療の不足」 ②「買い物、通院等への不安」 ③「障がい者に対する偏見」

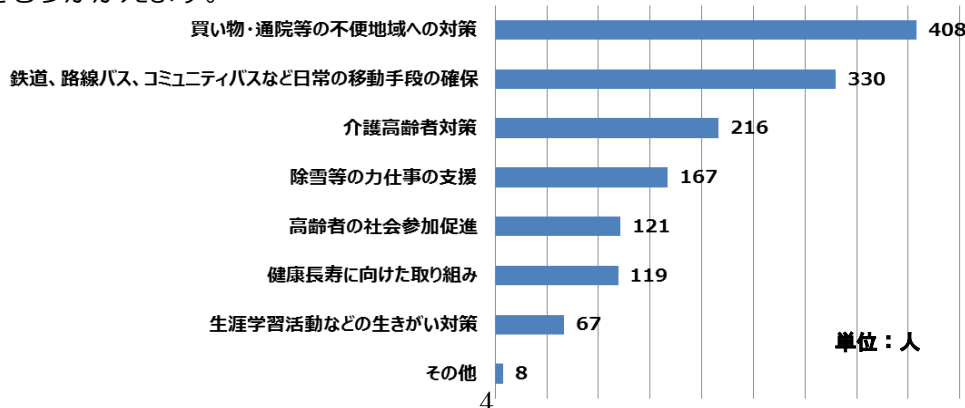
●望むサービスにあげられたものは「送迎サービス」

- ・「満足していない」理由に「交通不便」、「望むサービス」についても「送迎サービス」との回答から、移動困難者の増加とその対策の必要性がうかがえます。

これからも進む高齢化のなかで暮らしていくためには、どのような環境の整備が必要だと思いますか（3つまで複数回答可）。(p42,問 70)

●「買い物や通院等の不便地域への対策」、「移動困難の解消」を望む回答が多い

- ・高齢化社会の進展に伴い、移動手段の確保に対する不安が増大していることがうかがえます。また、「介護高齢者対策」、「除雪等の力仕事の支援」への回答も多く、高齢者の独居生活などへの不安が増大していることもうかがえます。

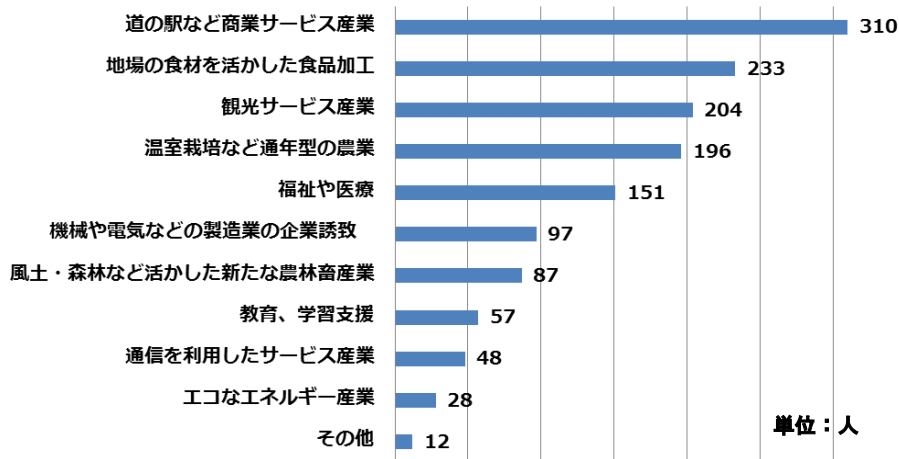


〈観光〉

今後、白老町でどのような産業を成長させることがよいと思いますか。重要と思われるもの3つまでに○をつけてください。(p34,問 54)

●「商業サービス産業」、「地元食材の食品加工」、「観光サービス産業」がトップ3

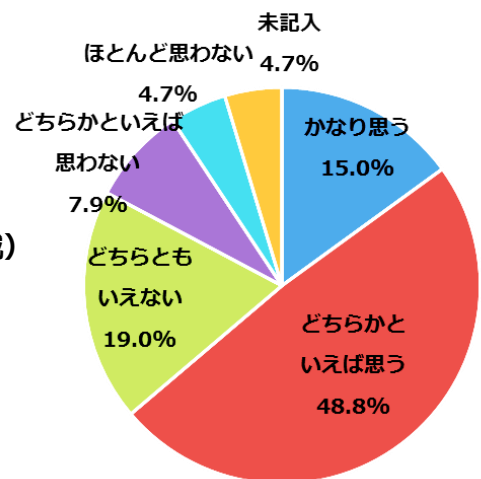
・地域の特性として、食材の特産品が多いことから、道の駅や食品加工業等のサービス産業への期待が高いことがうかがえます。



あなたは、「白老牛」や「虎杖浜たらこ」の地域ブランドや、全道トップクラスの生産量を誇る「鶏卵」や「しいたけ」、白老町の食材を利用した「白老バーガー&ベーグル」などの『食』を通してまちの活力や魅力が高まっていると思いますか。(p35,問 57)

●高まっていると思う割合 63.8%（前回より 2.4 ポイント減）

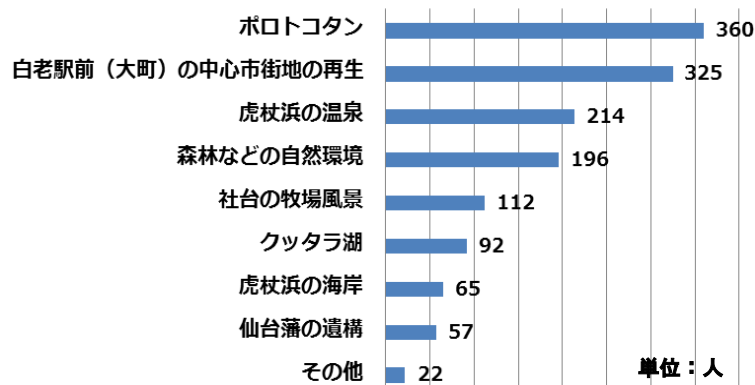
・『食』を通じてまちの活力や魅力が高まっていると思う」と回答した方は、前回調査時（66.2%）に比べ、2.4ポイント下回っていることから、更なるまちの活力向上や魅力づくりが求められます。



これからも白老町として、大切に（重視）していきべき環境的な事柄にはどのようなものがあると思いますか。重要と思われるもの3つまでに○をつけてください。(p41,問 67)

●最も多いのは、「ポロトコタン」次に、「白老駅前中心市街地の再生」

・2020年のウポポイ開設を控え、「ポロトコタン」「白老駅前（大町）の中心市街地の再生」の二つが上位を占めるとともに、「虎杖浜の温泉」、「森林などの自然環境」など本町の地域資源への関心の高さがうかがえます。



改善二一ズ上位5項目（基本施策）別 関連設問抜粋

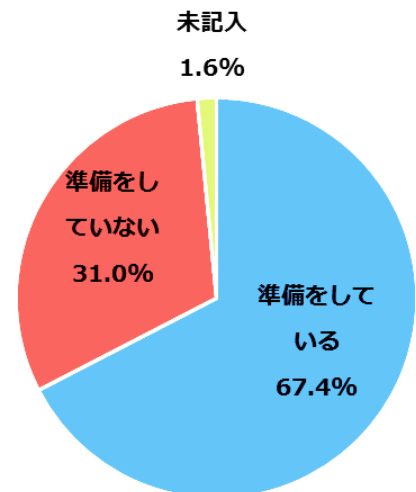
〈防災〉

災害や緊急時に備えた準備をしていますか。(p18,問 33)

- 「準備をしている」と答えた割合は 67.4%

（前回より 7.5 ポイント増）

- ・ 災害や緊急時に備えた何らかの準備をしている人は、前回に比べ、7.5%増の 67.4%であることから、近年の災害の大規模化により、防災意識が一段と高まりつつあります。
- ・ 3割の方は、「準備をしていない」と回答していることから、継続的に啓発していく必要があります。



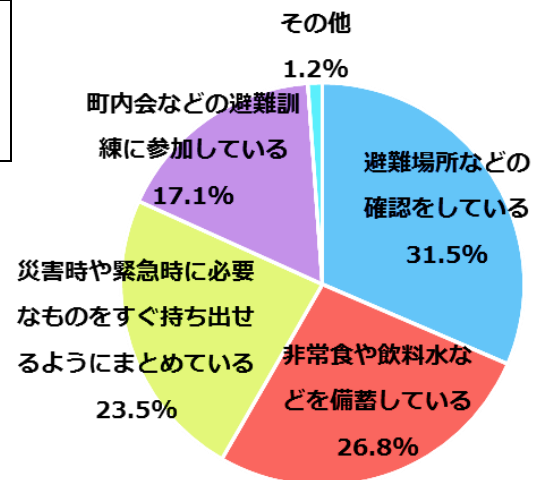
「準備をしている」と答えた方にお聞きします。

具体的にどのような準備をしていますか

（複数選択可）。(p19,問 33-2)

- 「避難場所の確認」が最多

- ・ 災害時等への準備としては、「避難場所などの確認をしている」が最も多く、「災害時や緊急時に必要なものをすぐ持ち出せるようにまとめている」、「非常食や飲料水などを備蓄している」の2項目は均衡しており、複数の準備をされていることがうかがえます。

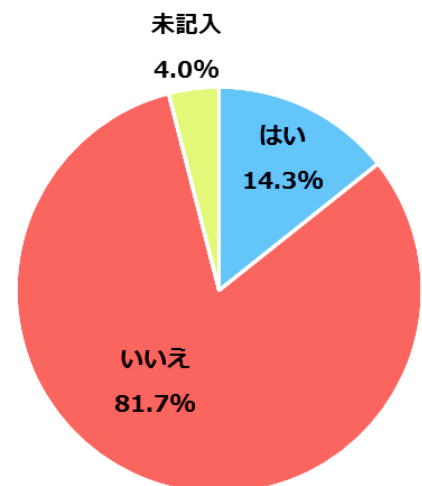


災害時に必要な1人3日間の食糧は、何がどのくらい必要か知っていますか。(p19,問 34)

- 「いいえ」と答えた割合は 81.7%

（前回より 4.1 ポイント減）

- ・ 災害時に必要な食料の種類や量については、81.7%の方が「知らない」と回答していることから、今後において、啓発活動の更なる強化が必要となります。



避難生活が長期化した場合、体調を崩さないような食事の摂り方を知っていますか。(p19,問 35)

- 「知らない」割合は 89.1%

（前回より 1.7 ポイント減）

- ・ 被災等による避難生活を強いられたときの食事の摂り方についての知識の有無の設問ですが、89.1%の方が「知らない」と回答していることから、啓発活動の更なる強化が求められます。

